

(別記様式第3号)

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1211号	氏名	安 樹才
論文審査担当者		主査教授	下川 功
		副査教授	長島 聖司
		副査教授	永安 武
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、小腸虚血再灌流における小腸粘膜上皮、粘膜固有層におけるアポトーシスのメカニズムを明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 虚血時間や再灌流時間は予備実験により適切に決定され、免疫染色、電子顕微鏡的観察を主体とし、プロテアーゼ阻害剤によるアポトーシス阻害実験を加えるなど、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 小腸上皮の絨毛表面では Bcl-2/ Bax 系が、粘膜固有層のリンパ球では Fas/FasL 系が選択的にアポトーシス誘導に関与していることを明らかにし、小腸再灌流時の腸管細胞死制御の可能性を示した点で、今後の研究の発展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は小腸虚血再灌流におけるアポトーシスの分子基盤の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。